

事前評価報告書

総合理工学研究機構運営委員会

平成19年10月15日(月)

研究課題	(改題)自然環境のもたらす保健休養上の効用に関する研究	
研究期間	平成20年度～22年度	
	評価項目	平均点
	1 研究の背景	3.6
	2 研究目的の的確性	3.0
	3 研究内容の合理性・新規性	2.6
	4 研究予算の妥当性	3.2
	5 目的達成の可能性	3.0
	6 期待される研究成果	3.0
	7 予備研究の状況	2.8
	8 総合評点	3.2
自然環境がもたらす保健休養効果について人々の関心が高まっているなか、自然環境中で発生する2万ヘルツ以上の周波数を含む音や、準高地の酸素条件が人の健康に与える影響を科学的に調査研究することは有意義である。また、山梨県の自然のもつ保健休養上の効用を他県に先駆けて明らかにすることで、本県の定住人口や観光客数の増加に資する可能性もあることから、研究の成果に期待したい。		